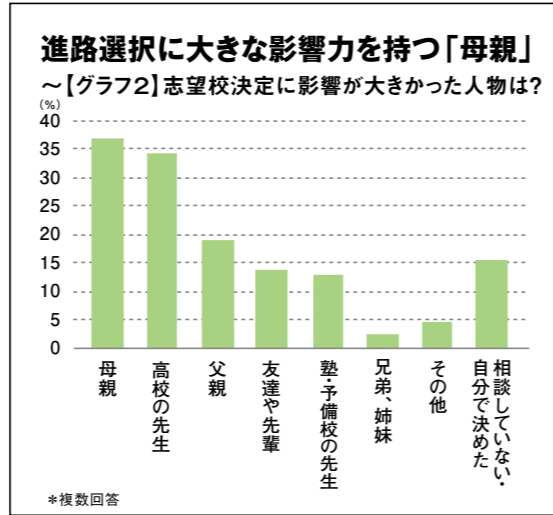
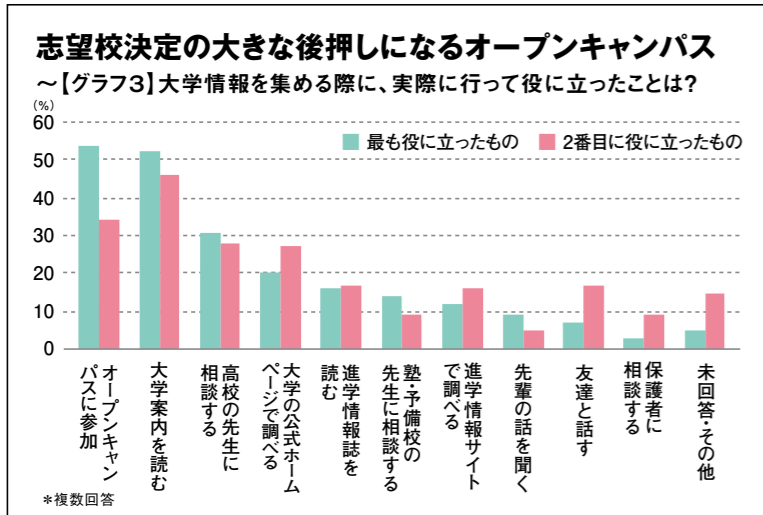
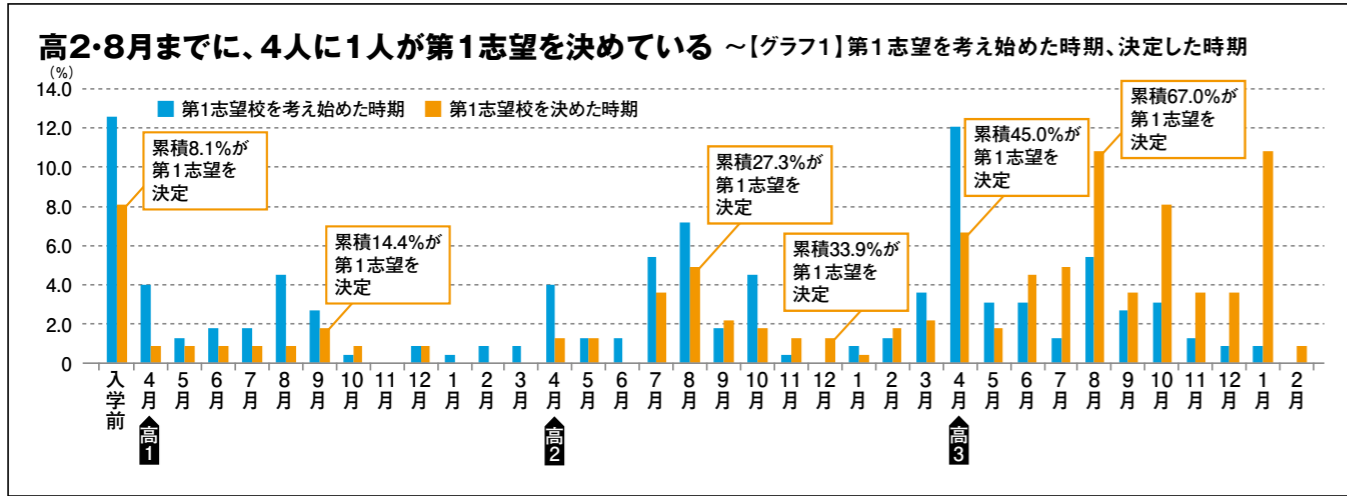


*いずれも「Benesseマナビジョンブック大学生特派員アンケート」(2016年4月実施、対象:現役大学生)を基に作成



オープンキャンパスに参加した高校生の声は、大学情報収集に役立ったものとして、最も高い「グラフ3」。よかった点として、「大学の雰囲気や先輩の様子を確かめられた」「模擬授業の内容が、学びたいことと一致していた」という意見のほか、「学長の話に感動して第1志望に決めた」「先輩方との座談会で、入学後の自分をイメージできた」という声も多く、関係者の生の声が、高校生の心に響いているようだ。

一方、一部の大学からは、「イベント感覚での参加者も多くなり、出願に結びつきにくい。今後は縮小する予定だ」という声も聞く。欲しい学生を集めるためには、対象を絞ったり、内容を見直したりすべきだろう。今回紹介した高校事例のように、重点校についてはオリジナルプログラムを提供するという手もある。

決定打は? オープンキャンパス時の生の声が生徒の心に響く

大学情報の収集に役立ったものは、「オープンキャンパスに参加」が最も高い「グラフ3」。よかった点として、「大学の雰囲気や先輩の様子を確かめられた」「模擬授業の内容が、学びたいことと一致していた」という意見のほか、「学長の話に感動して第1志望に決めた」「先輩方との座談会で、入学後の自分をイメージできた」という声も多く、関係者の生の声が、高校生の心に響いているようだ。

【高1】①桐山女学園大・生活科学②金城学院大・生活環境③名古屋女子大・家政④【高2】変更なし⑤出願校⑥【高3】変更なし⑦【高3】2学期⑧【高3】1学期⑨【高3】1学期⑩【高3】1学期⑪【高3】1学期⑫【高3】1学期⑬【高3】1学期⑭【高3】1学期⑮【高3】1学期⑯【高3】1学期⑰【高3】1学期⑱【高3】1学期⑲【高3】1学期⑳【高3】1学期㉑【高3】1学期㉒【高3】1学期㉓【高3】1学期㉔【高3】1学期㉕【高3】1学期㉖【高3】1学期㉗【高3】1学期㉘【高3】1学期㉙【高3】1学期㉚【高3】1学期㉛【高3】1学期㉜【高3】1学期㉝【高3】1学期㉞【高3】1学期㉟【高3】1学期㊱【高3】1学期㊲【高3】1学期㊳【高3】1学期㊴【高3】1学期㊵【高3】1学期㊶【高3】1学期㊷【高3】1学期㊸【高3】1学期㊹【高3】1学期㊺【高3】1学期㊻【高3】1学期㊼【高3】1学期㊽【高3】1学期㊾【高3】1学期㊿【高3】1学期

【高1】①東北大②横浜国立大・理工③【高2】変更なし④【高3】1学期⑤【高3】1学期⑥【高3】1学期⑦【高3】1学期⑧【高3】1学期⑨【高3】1学期⑩【高3】1学期⑪【高3】1学期⑫【高3】1学期⑬【高3】1学期⑭【高3】1学期⑮【高3】1学期⑯【高3】1学期⑰【高3】1学期⑱【高3】1学期⑲【高3】1学期⑳【高3】1学期㉑【高3】1学期㉒【高3】1学期㉓【高3】1学期㉔【高3】1学期㉕【高3】1学期㉖【高3】1学期㉗【高3】1学期㉘【高3】1学期㉙【高3】1学期㉚【高3】1学期㉛【高3】1学期㉜【高3】1学期㉝【高3】1学期㉞【高3】1学期㉟【高3】1学期㊱【高3】1学期㊲【高3】1学期㊳【高3】1学期㊴【高3】1学期㊵【高3】1学期㊶【高3】1学期㊷【高3】1学期㊸【高3】1学期㊹【高3】1学期㊺【高3】1学期㊻【高3】1学期㊼【高3】1学期㊽【高3】1学期㊾【高3】1学期㊿【高3】1学期

How to 高校生の志望校 リストに入るには? 志望校決定までの 高校生の行動を知る いつ?

高2の8月には約半数が志望校の検討を始める

左の「グラフ1」は、第1志望を考え始めた時期、決定した時期を示したものだ。第1志望を考え始めた時期は、「高校入学前」が多く、すでに8・1%の高校生は決めていた状況。特に看護・医療技術系、教員養成系など、希望する職業に必要な資格が取れる学部を志望する高校生は早い。こうした生徒の志望校リストに入るには、高校入学前から大学を認知さ

せる働きかけが必要だろう。高2・7月、8月も1つのお山だ。数値を累計すると高2・8月の時点で半数を超える生徒(51・4%)が第1志望を考え始めており、4人に1人強(27・3%)がすでに第1志望を決めている。

第1志望を決めた時期は、高3・8月、センター試験の結果が出る高3・1月が多い。高3・10月の数値が高いのは、夏休み直後の模試の結果が返却されることも影響していると考えられる。

回答者の12・6%が高校入学前から第1志望を考え始めていたが、そもそも大学を認知するきつ

誰に相談して? 教員の影響が大きいと答えた生徒の多くは女子

志望校決定に影響を持つのは、母親、高校の先生の順で高い「グラフ2」。母親については、資格や就職に関する助言を参考にし



現役大学生に聞いた 出願校決定までの変遷

【高1】明治学院大①(高2)変更なし②【高3】1学期③変更なし④【高3】2学期⑤【高3】1学期⑥【高3】1学期⑦【高3】1学期⑧【高3】1学期⑨【高3】1学期⑩【高3】1学期⑪【高3】1学期⑫【高3】1学期⑬【高3】1学期⑭【高3】1学期⑮【高3】1学期⑯【高3】1学期⑰【高3】1学期⑱【高3】1学期⑲【高3】1学期⑳【高3】1学期㉑【高3】1学期㉒【高3】1学期㉓【高3】1学期㉔【高3】1学期㉕【高3】1学期㉖【高3】1学期㉗【高3】1学期㉘【高3】1学期㉙【高3】1学期㉚【高3】1学期㉛【高3】1学期㉜【高3】1学期㉝【高3】1学期㉞【高3】1学期㉟【高3】1学期㊱【高3】1学期㊲【高3】1学期㊳【高3】1学期㊴【高3】1学期㊵【高3】1学期㊶【高3】1学期㊷【高3】1学期㊸【高3】1学期㊹【高3】1学期㊺【高3】1学期㊻【高3】1学期㊼【高3】1学期㊽【高3】1学期㊾【高3】1学期㊿【高3】1学期

高校生の志望校リストに入るには？

大きな影響力を持つ保護者や教員に自校の魅力をどう伝えるか？

保護者

自ら大学情報を集める保護者が8割以上

【グラフ1】は、保護者が子どもの志望校選びで何を重視しているかを示している。保護者は主に「子

どもの希望」「進学先で何を身に付けられるのか」を重視していることがわかる。

また、自ら大学情報を集めたと答えた保護者は85%にのぼった。役に立った情報源は、上位から「大学案内・パンフレット」(70%)、「進学相談会やオープンキャンパス」(46%)、「進学情報誌」(44%)だった。大学案内のよかった点は、「在学生の声から学生生活がイメージできた」「キャンパスの様子がよ

くわかった」といった意見が多く、大学生活の具体的なイメージが伝わる内容が評価されていた。

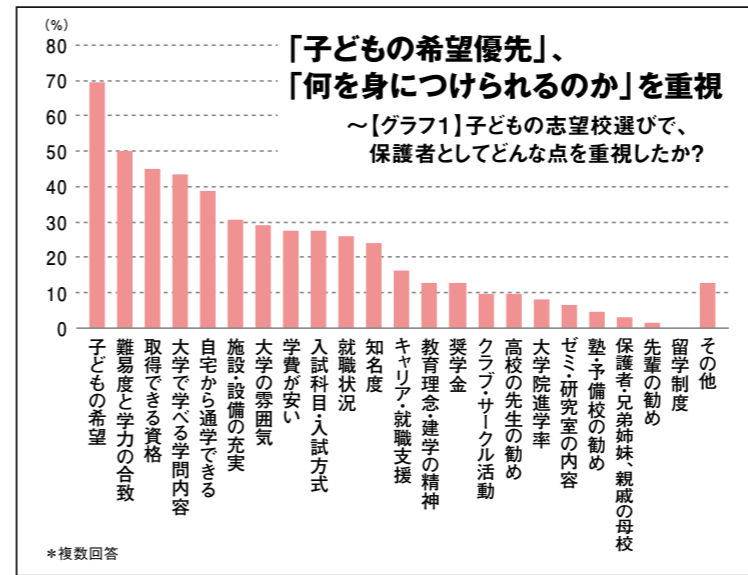
自立のためのサポートを具体的に知らせる

【グラフ2】は、保護者がもっと知りたいと感じたことを示している。「自立・就職のサポート」が46・7%と一番高く、「キャリアガイダンス、就職セミナーのスケジュールや内容、頻度について知りたかった」というような声が多かった。その他のサポートについては、「一人暮らしのため、困ったときのサポート体制について知りたかった」「教職をめざしているが、教育学部ではないのでフォロワーがあるのか知りたかった」などの声があった。

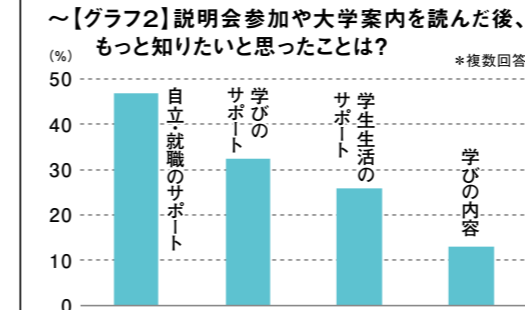
ベネッセの調査によれば、高校生の保護者で「子どもが大人になったとき自立できるか不安」と答えた割合は男子で58%、女子で49・1%だった。サポート内容を詳しく伝えることが、保護者の信頼につながると思える。

*1 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査2015」(2015年7~8月実施)

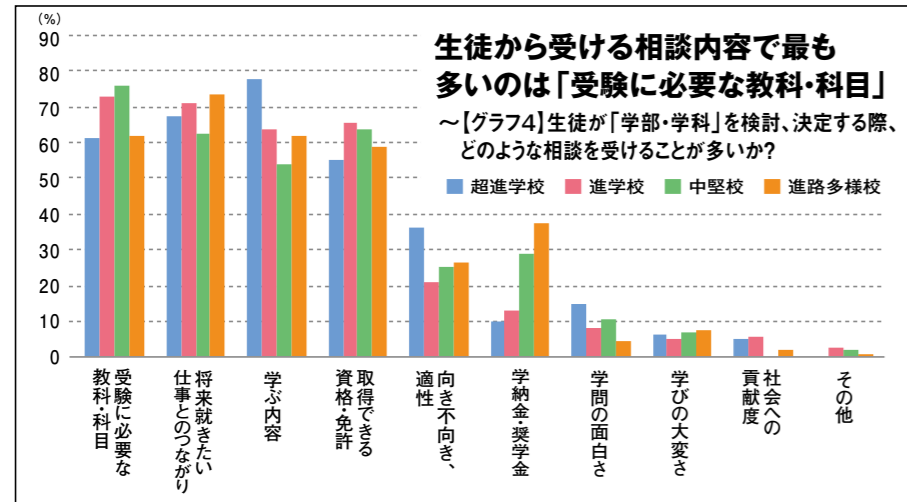
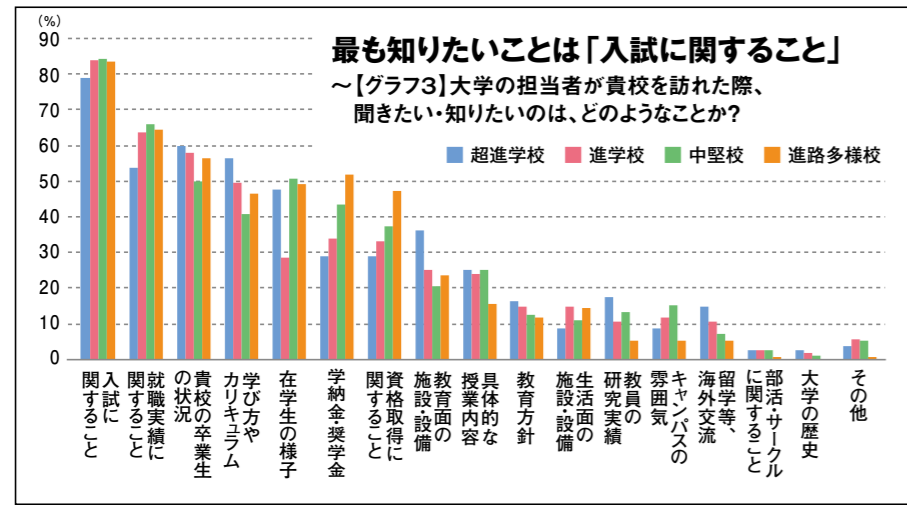
*「Benesseマナビジョンブック保護者アンケート」(2016年6月実施、対象:大学生の保護者)を基に作成



保護者は自立サポートに関する情報をもっと知りたがっている



*進研アド「高校教員調査」(2014年10月実施)を基に作成。超進学校:n=80 進学校:n=162 中堅校:n=152 進路多様校:n=110



高校教員

進学実績により情報ニーズは異なる傾向

【グラフ3】は高校を訪れた大学関係者に、高校教員が聞きたいことを高校の進学実績の区分別にまとめたものだ。「入試に関すること」がどの区分でも最も高いが、

他の項目では区分により差がある。「学納金・奨学金」「資格」については中堅校・進路多様校で、「学び」「教育施設」は超進学校・進学校で特に高い傾向がある。

また、高校教員が生徒から受ける相談は、進路多様校では「仕事とのつながり」、超進学校では「学ぶ内容」、進学校・中堅校では「受験に必要な教科・科目」が最も多

い【グラフ4】。ポリウムゾーンの進学校や中堅校では多様化する入試方式に、高校教員、高校生の知識が追いついていないことがうかがえる。特に入試科目の変更は受験生に与える影響が大きいため、確実に周知する必要がある。

卒業生の声が大学の評価につながる

近年、高校の進路指導において、卒業生とのつながりを活用した取り組みが増えている。例えば卒業生が現在通っている大学の学びの内容や大学生活について母校の後輩に語ったり、受験体験談を進路指導用資料に掲載したりする取り組みだ。事例で取り上げた坂戸高校のように卒業生の満足度調査を実施し、進路指導の改善につなげようとする高校もある。高校教員から見れば、大学で活躍する卒業生の姿は進路指導の成果なのだ。大学は母校で胸を張って報告できるような学生を育てる必要がある。満足度の高い学生生活を送っている学生は、自分が通う大学の魅力を後輩の高校生や高校教員の心に響く形で伝えられるからだ。高校教員から生徒に勧められる大学になるためには、入試広報に力を注ぐだけでなく、自校の教育力をより高めることが重要だろう。

現役大学生に聞いた 出願校決定までの変遷

【高1】横浜国立大理工工→【高2】群馬大 大医→【高3】群馬大 大医
【高1】群馬大 大医→【高2】群馬大 大医
【高3】群馬大 大医
【高1】群馬大 大医→【高2】群馬大 大医
【高3】群馬大 大医
【高1】群馬大 大医→【高2】群馬大 大医
【高3】群馬大 大医

【高1】埼玉医科大保健医療→【高2】変更なし→【高3】1学期変更なし→【高3】2学期変更なし→【高3】3学期変更なし
【高1】埼玉医科大保健医療→【高2】変更なし→【高3】1学期変更なし→【高3】2学期変更なし→【高3】3学期変更なし

【高1】明治大文→【高2】立教大社会→【高2】変更なし→【高3】1学期変更なし→【高3】2学期変更なし→【高3】3学期変更なし
【高1】明治大文→【高2】立教大社会→【高2】変更なし→【高3】1学期変更なし→【高3】2学期変更なし→【高3】3学期変更なし

【高1】音楽系の専門学校→【高2】観光系の専門学校→【高3】1学期明治大文→【高3】2学期滋賀県立大→【高3】3学期同志社大→【高3】4学期同志社大
【高1】音楽系の専門学校→【高2】観光系の専門学校→【高3】1学期明治大文→【高3】2学期滋賀県立大→【高3】3学期同志社大→【高3】4学期同志社大

【高1】未定→【高2】未定→【高3】1学期①滋賀県立大②同志社大→【高3】2学期①奈良女子大②同志社大③関西大④龍谷大⑤京都文教大→【高3】3学期①滋賀県立大②同志社大③同志社大④同志社大⑤同志社大
【高1】未定→【高2】未定→【高3】1学期①滋賀県立大②同志社大→【高3】2学期①奈良女子大②同志社大③関西大④龍谷大⑤京都文教大→【高3】3学期①滋賀県立大②同志社大③同志社大④同志社大⑤同志社大

【高1】お茶の水女子大→【高2】社会→【高2】京都大→【高3】1学期東京外語大→【高3】2学期東京外語大→【高3】3学期東京外語大→【高3】4学期東京外語大
【高1】お茶の水女子大→【高2】社会→【高2】京都大→【高3】1学期東京外語大→【高3】2学期東京外語大→【高3】3学期東京外語大→【高3】4学期東京外語大

【高1】静岡県立大看護→【高2】首都大 東京健康福祉→【高3】1学期順天堂大保健看護→【高3】2学期変更なし→【高3】3学期変更なし→【高3】4学期変更なし
【高1】静岡県立大看護→【高2】首都大 東京健康福祉→【高3】1学期順天堂大保健看護→【高3】2学期変更なし→【高3】3学期変更なし→【高3】4学期変更なし

進路指導 × 高校生のリアルな気持ち

高校生のマイナードカレンダ―

Main content table with columns for months (3月 to 4月) and rows for grade levels (1年生, 2年生, 3年生). Each cell contains event names and student comments.

1年生

2年生

3年生

行事

高校生の行動と気持ち

行事

高校生の行動と気持ち

行事

高校生の行動と気持ち

入学式
新入生保護者オリエンテーション
進路調査
卒業後の進路について、自分なりのイメージを持っている者も少なくない。...

文理解クラスに分かれ、時間割は自分の興味に合った科目が中心となる。英語や数学など、難度が上がり、要求される学習量も増えたと感じる。...

この時期には受験する入試方式も入試科目も最終的に決まる。履修科目も入試科目に直結するものになるため、大学受験へのやる気も高まる。...

保護者会PTA総会
中間テスト
職業研究
主体的になりたい職業を挙げる高校生もおり、医療系の資格が必要な職業や教師などがその代表例。...

大学で学べる学問を調べる(系統分野/ルビまで)。調べるのはポムルーム以下H/Dまで。担任の指導のもと、進路冊子などを利用する。...

模試受験の際に記入する大学を決めるため、難易度を意識して志望校を選ぶ。模試の結果を踏まえ、志望校群の追加を考えた。...

学問研究
(文理解/系統分野)
文理解/進路調査
学部/学科研究
進路講演会
文理解分けガイダンスを受けて学問研究を始める。しかし、大学で学ぶ学問まで関心は向かず、自分の得意科目/苦手科目から文理解を考えるのが精一杯。

進路講演会では大学で学ぶ学問について指導する高校が多い。高生の自主性任せでは学問というものを理解できない。夏のOC参加に向け、大学のヒックアップや、行て何を見てくるかなど指導を受ける。...

この時期ほとんどの生徒は第2志望を書ける状態になっている。実際の受験校を決めるのはこの時期が多い。まだ決めかねている者は自分の学力を現実的に見て注意深く検討しており、夏までには決めたいと考えている者が多い。...

終業式
保護者会三者面談
期末テスト
オープンキャンパス
学校からの課題もあって半数の高校生がオープンキャンパス(以下OC)に参加する。進学先として意識というより、大学はどんなところが体感するにとどまる者が多い。...

OC参加校数はほぼつきがあるが、第2志望への意識の高さと反比例している。第3志望が決まっている場合、参加校数は少ない。検討中の場合は、たくさん参加する。...

第2志望はすでに固まっている。夏休み中の学習は苦手克服、基礎固め、センター対策が中心。推薦入試を希望する高校生は評定平均値が確定し、出願校を固める。...

夏休み
夏期講習
オープンキャンパス
OCに参加した者がいる一方で、部活動などが忙しく、参加できなかった生徒もいる。大学研究の課題が出た際、使ったものは、スマホ派/PC派に分かれる。...

OC参加校数は少い。検討中の場合は、たくさん参加する。大学案内やネットでは得られない大学の雰囲気や個性をOCで確かめる。その結果、プラス面/マイナス面の両面がわかったという者が多い。...

多くの高校生がOCに参加する。ただし、高1と比べて比較すると志望校候補校だけ絞る傾向がある。卒業生/予備校の夏期講習を受講し、既卒生に混じって勉強することによって、自分の志望校を固める。...

始業式
学問研究(文理解)
文理解
模範授業
進学に対する意識が高い生徒の場合、得意科目/苦手科目だけでなく、将来の職業まで見据えて文理解を選択している。...

次年度の履修科目選択に向け、今年度の大学別入試情報を調べて、入試科目や難易度を確認する。推薦入試やAO入試を希望する生徒もいる。...

学校のHR/集会等で今後の指導がある。一般入試組は意識が高まり、推薦/AO入試希望者との温度差がある。入試ガイダンスが行われ、志望校の入学に合わせた学習プランと入試日程を見て受験スケジュールを立てる。...

面談
保護者会
中間テスト
進路調査(文理解)
文理解について学校からの指導があるが、その内容に対して生徒自身からは賛否両論。面談や講演がない場合でも、担任からの資料配付などの進路指導はある。...

今年度の履修科目選択に向け、今年度の大学別入試情報を調べて、入試科目や難易度を確認する。推薦入試やAO入試を希望する生徒もいる。...

一般入試志望者と推薦入試志望者の間では、とりとち動きが分かれ始める。ほとんどの高校ではガイダンスや面談などが行われており、一般入試受験者は併願校を含めた受験校を決める。...

模範
進路講演会
進学多様性は職業に、進学校は研究や学問に特化した講演内容が多い。大半の高校生の講演は純いものの、刺激を受ける生徒が見られる結果に。...

進路講演会は大学の在学生や教員などを招くケースと外部講師に委託するケースがある。面談の練習開始も一部の高校で行われる。...

模範の結果を踏まえ、三者面談で出願校を検討/最終確認する。この時点で志望校を再検討する生徒はあまりおらず、併願校を変更する者と子ども。...

三者面談
期末テスト
冬休み
この時期の学習面での不安は、大学進学に関するものと、日々の学習の意図に分解される。初めて大学受験に向けた学習が意識されるタイミングであると同時に、勉強のモチベーションに個人差が見られる結果に。...

11月に受験した模範の結果返却があり、5教科型模範における、全国的な自分の位置を初めて知る。成績が悪い場合でも、第2志望を変える者は少ない。自分の位置を知ってモチベーションを高める。...

模範の結果を踏まえ、三者面談で出願校を検討/最終確認する。この時点で志望校を再検討する生徒はあまりおらず、併願校を変更する者と子ども。...

始業式
センター同日受験
文理解決定
センター試験で大学受験を意識する。受験した3年生の姿を見ると、2年後はあんなうんと感じて、焦りを覚えるなど、自分事として捉えている。...

入試ガイダンス模範(1月模範とドッキング判定)を受ける。模範の結果返却があり、5教科型模範における、全国的な自分の位置を初めて知る。...

模範の結果を踏まえ、三者面談で出願校を検討/最終確認する。この時点で志望校を再検討する生徒はあまりおらず、併願校を変更する者と子ども。...

模範
センター同日受験
文理解決定
センター試験で大学受験を意識する。受験した3年生の姿を見ると、2年後はあんなうんと感じて、焦りを覚えるなど、自分事として捉えている。...

入試ガイダンス模範(1月模範とドッキング判定)を受ける。模範の結果返却があり、5教科型模範における、全国的な自分の位置を初めて知る。...

模範の結果を踏まえ、三者面談で出願校を検討/最終確認する。この時点で志望校を再検討する生徒はあまりおらず、併願校を変更する者と子ども。...

学年末テスト
補習
春休み
進路ガイダンス
この時期に名前を知っている大学数は平均15校ほど。有名校や地元大学の名前のみにとどまる。それぞれの大学の特徴はさほど理解していない。...

1月模範/2月模範のドッキング判定が戻り、記述+マークのリアルな判定を知り、ショックを受ける。自分がどういう大学をどういう入試で受験するかの程度明確になる。志望校群を広げる高校生もいる。...

私立大学の個別試験が始まる。現役生は入試期間中もさらに実力伸び続ける。私立大は2月中旬にほとんどの結果が出る。不合格者たちも3月入試に出願する。...

学年末テスト
補習
春休み
進路ガイダンス
この時期に名前を知っている大学数は平均15校ほど。有名校や地元大学の名前のみにとどまる。それぞれの大学の特徴はさほど理解していない。...

1月模範/2月模範のドッキング判定が戻り、記述+マークのリアルな判定を知り、ショックを受ける。自分がどういう大学をどういう入試で受験するかの程度明確になる。志望校群を広げる高校生もいる。...

国公立大志望者も合格不合格が確定、海外留学や専門学校に路線変更する者もいる。不合格だった高校生で現役にたつた者は、3月入試を受験する。...

*行事の内容やスケジュールは目安です。実際は学校により異なります